

宮崎県の取組

宮崎県健康増進課 森木大輔

宮崎県のフッ化物洗口実施状況

(平成26年度)

保育園 幼稚園 小学校 中学校

施設実
施率

46.6

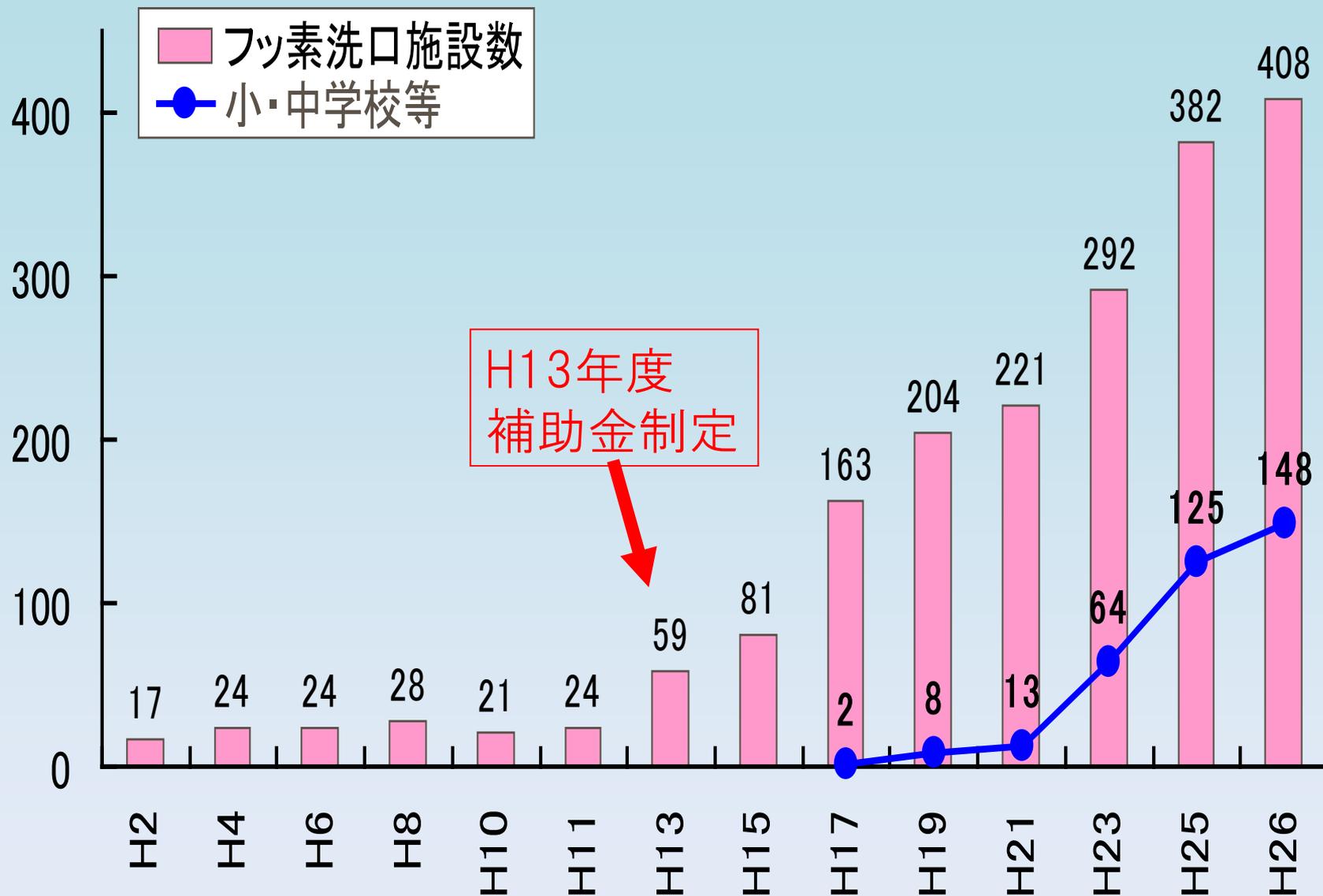
38.0

40.1

34.9



施設数



フッ化物洗口実施施設数の推移

3つの転機

- 1 県単新規事業を開始
- 2 小学校でフッ化物洗口始まる
- 3 宮崎市でフッ化物洗口始まる

1 県単新規事業を開始

目的 幼児等の歯科保健に積極的に取り組む市町村に対し助成

時期 平成13年度から

補助率 2分の1

内容

① 歯科保健推進協議会

市町村、歯科医師会、歯科衛生士会、保健所等
関係機関の連携、事業の具体的な内容を検討

② 乳歯むし歯予防事業

1歳6か月児から3歳6か月児の希望者を対象とし、半年
に1回を目安にフッ化物塗布を行う

③ 保育所・幼稚園等むし歯予防事業（フッ化物洗口等）

4歳以上のうがいのできる子どもで希望するものにフッ化
物洗口を行う。

ポイント

- 1) むし歯が多い背景
- 2) 県歯科医師会との調整
- 3) 歯科保健推進協議会を必須

2 小学校でフッ化物洗口始まる

平成17年2月～

村内小学校 3クラス（複式） 全生徒20名

職員 校長、教頭、養護教諭 含め 全6名

方法： 週1回法

ミラノール 450ppm

実施時間： 昼休みの掃除の後

全体を養護教諭が管理

洗口液： 学校歯科医がミラノールを溶かす。

その他： 洗口液は毎回使い切り、余った液は捨てる。

ポイント

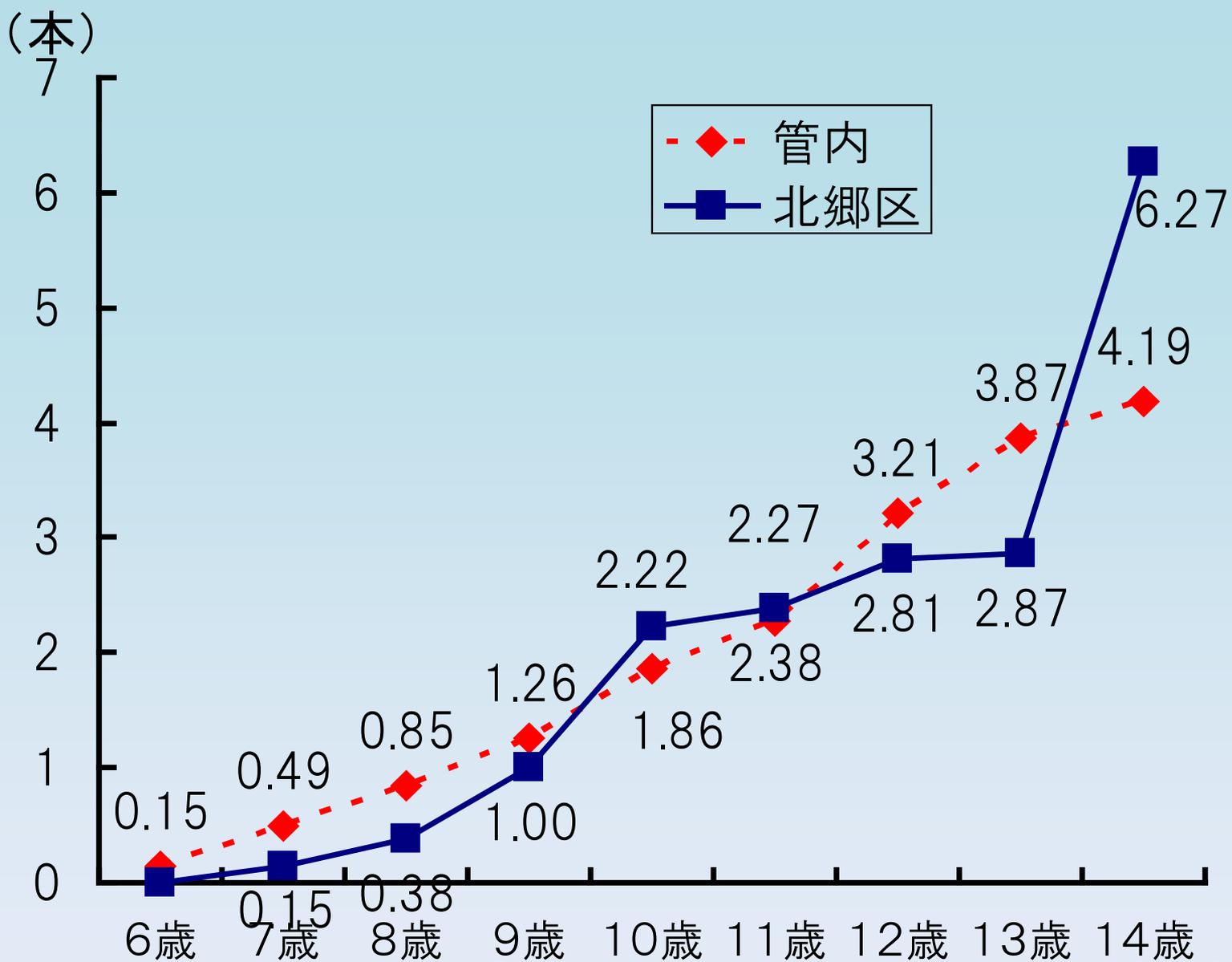
- 1) 関係機関の連携
- 2) 市町村保健師のがんばり
- 3) 事務職課長、校長、学校歯科
医等の熱意。
- 4) 周囲の応援

その後の小中学校でのフッ化物洗口の
拡がりにつながる

H19年度～ 木城町

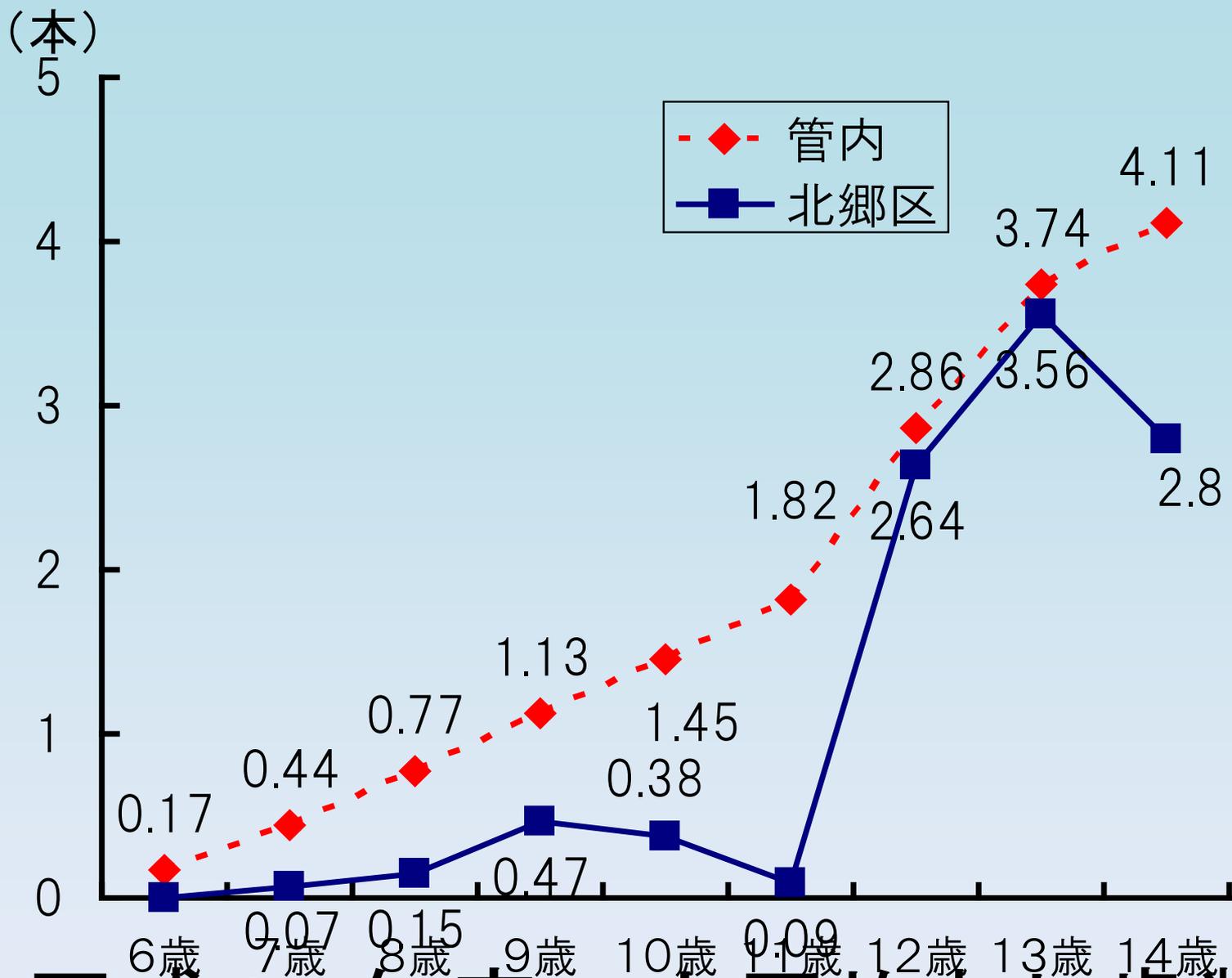
H20年度～ 川南町、西米良村

H20年度 中学校でのフッ化物洗口開始
(川南町、西米良村)



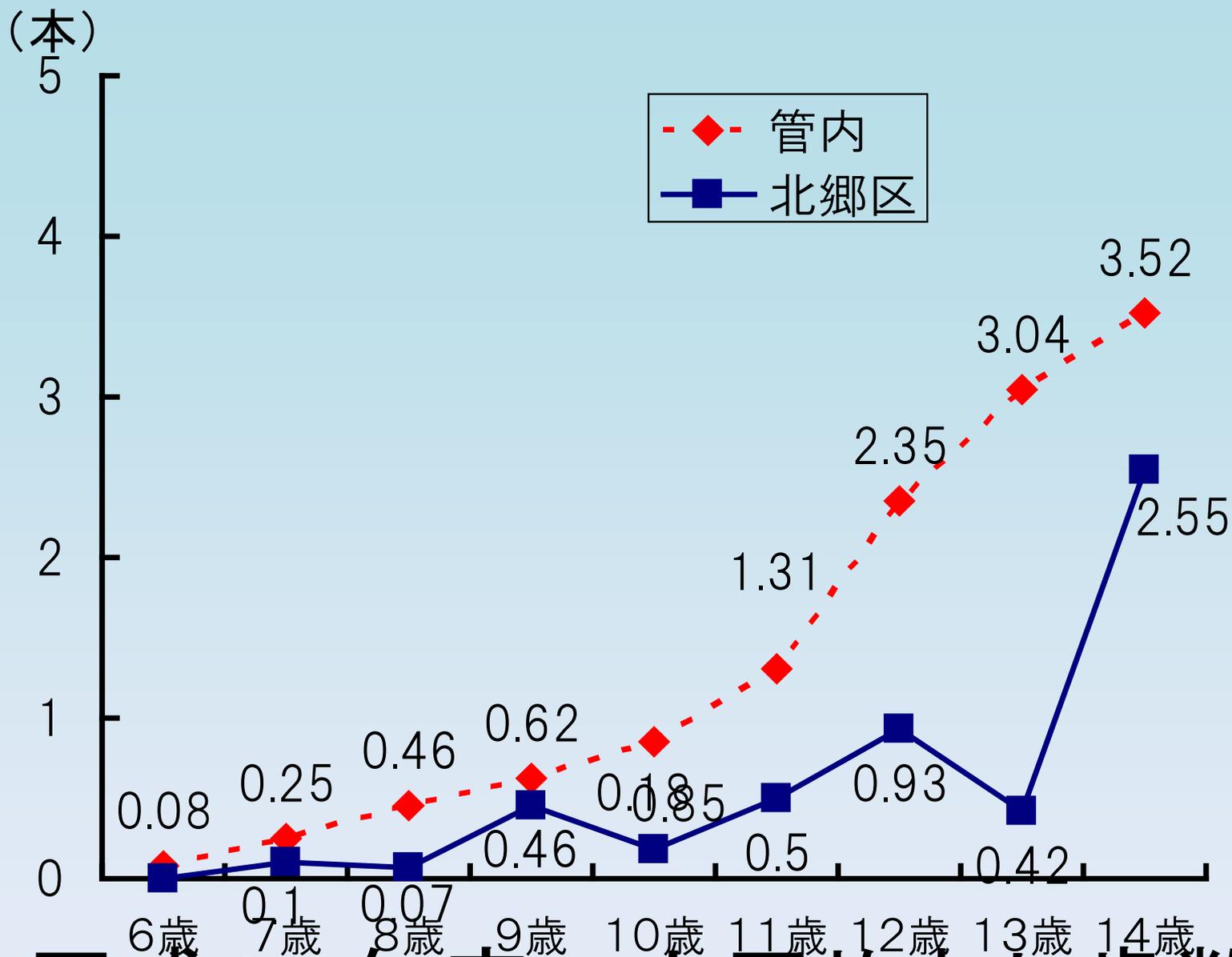
平成16年度一人平均むし歯数

(日向保健所管内の歯科健診の現状)



平成19年度一人平均むし歯数

(日向保健所管内の歯科健診の現状)



平成21年度一人平均むし歯数

(日向保健所管内の歯科健診の現状)

3 宮崎市でフッ化物洗口始まる

平成23年度 宮崎市の小中学校で
フッ化物洗口開始

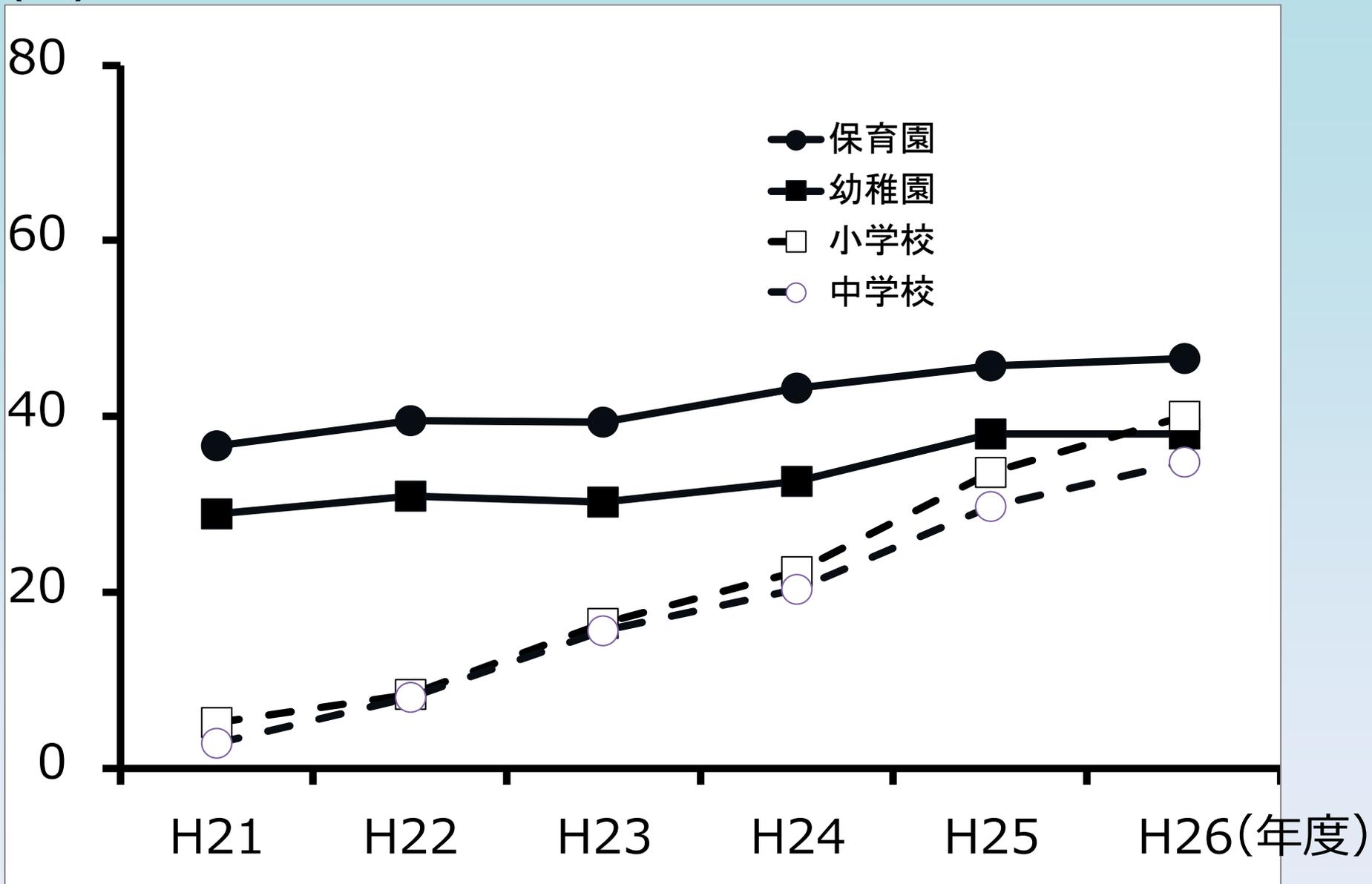
宮崎市のフッ化物洗口実施施設数

年度	H23	H23	H24	H25
小学校	5	20	33	47
中学校	3	10	16	23

ポイント

- 1) 保健所主導
- 2) 市長、市教育長も巻き込む

(%)



フッ化物洗口施設実施率

課題等

課題

- ・ 県教育委員会の方針
- ・ 特別支援学校の取組

H18年度 特別支援学校で F M R 開始

⇒ H26年度～中断

県（保健所は）は後方支援

評価は県が応援

県は統計を

最近の歯科保健の状況

×

検索

宮崎県議会（平成26年6月）

教育長

フッ化物洗口によるむし歯予防については、顕著な効果を示しており、有効な手段の一つであると認識いたしております。（中略）県教育委員会としましては、（中略）学校でしっかりと取り組むよう、積極的に紹介してまいります。